

京都市の小売業の状況

(参考)京都市商業集積活性化会議「京まちなかの活性化に向けた提案(平成26年3月)」
※ 都心部地域＝四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれた地域とその周辺地域

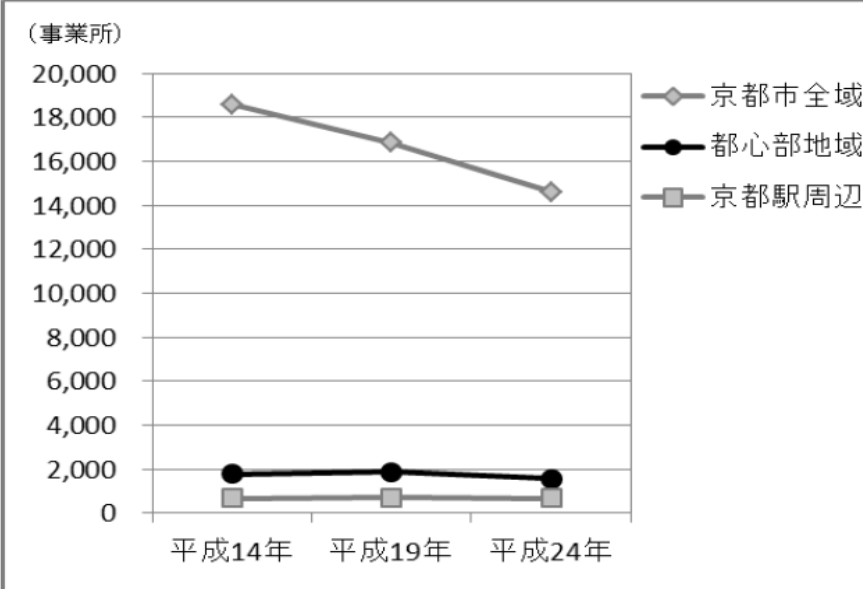
○平成19年から平成24年までの5年間で、京都市全域の小売業の年間販売額は18%減、都心部地域の小売業の年間販売額は32%減と、大幅に減少している。
(都心部地域における小売業年間販売額の減少額は、京都市全域における減少額の36%を占めている。)
○京都駅周辺は、リーマンショックの平成19年以降、大型店が数件開業しているが、売り場面積71%増に対して、年間販売額27%増と、十分に売上につながっていない状況にある。

・【事業所数】平成19年まで、都心部地域は微増傾向でしたが、平成24年に平成19年比-17%と減少しています。

◇小売業事業所数の推移 (単位：事業所)

	平成14年	平成19年	平成24年
京都市全域	18,586	16,834	14,621
都心部地域	1,788	1,874	1,563
京都駅周辺	693	711	696

出典：平成14～19年は商業統計調査、平成24年は経済センサス活動調査（京都市独自集計）
注：商業統計調査（平成19年以前）と経済センサス活動調査（京都市独自集計）とは調査対象等の違いから厳密には比較できない

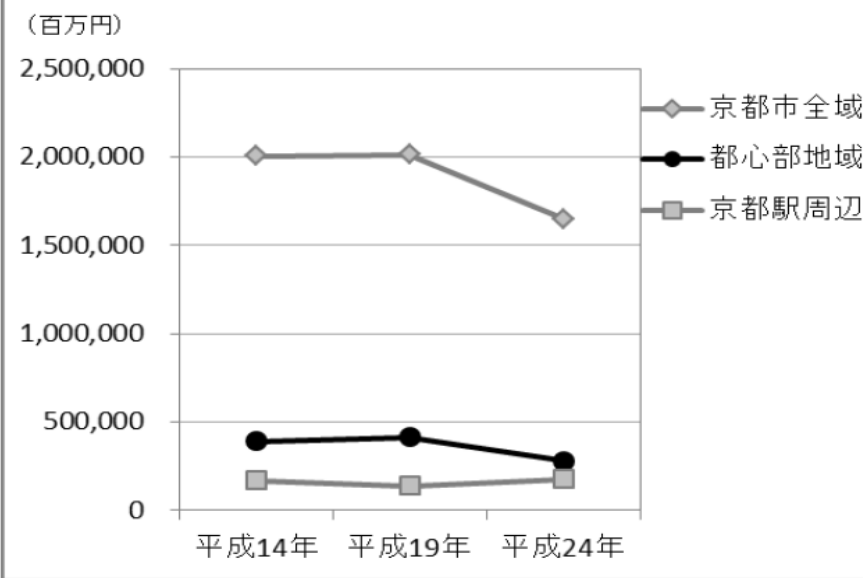


・【年間販売額】平成19年まで、都心部地域は微増傾向でしたが、平成24年に平成19年比-32%と大きく落ち込んでいます。また、京都駅周辺をみると、平成19年以降、大型店が開業し、売場面積が増加しているにもかかわらず、年間販売額は微減となっており、厳しい状況にあることがわかります。

◇小売業年間販売額の推移 (単位：百万円)

	平成14年	平成19年	平成24年
京都市全域	2,005,488	2,013,745	1,649,919
都心部地域	391,096	412,906	280,279
京都駅周辺	167,622	138,958	176,063

出典：平成14～19年は商業統計調査、平成24年は経済センサス活動調査（京都市独自集計）
注：商業統計調査（平成19年以前）と経済センサス活動調査（京都市独自集計）とは調査対象等の違いから厳密には比較できない



・【売場面積】平成19年まで、都心部地域は微増傾向でしたが、平成24年に平成19年比-15%と減少しています。

◇小売業売場面積の推移 (単位：㎡)

	平成14年	平成19年	平成24年
京都市全域	1,609,477	1,606,807	1,426,706
都心部地域	271,908	280,718	239,210
京都駅周辺	131,018	92,583	158,642

出典：平成14～19年は商業統計調査、平成24年は経済センサス活動調査（京都市独自集計）
注：商業統計調査（平成19年以前）と経済センサス活動調査（京都市独自集計）とは調査対象等の違いから厳密には比較できない

